

平成21年度技術士第二次試験問題【農業部門】

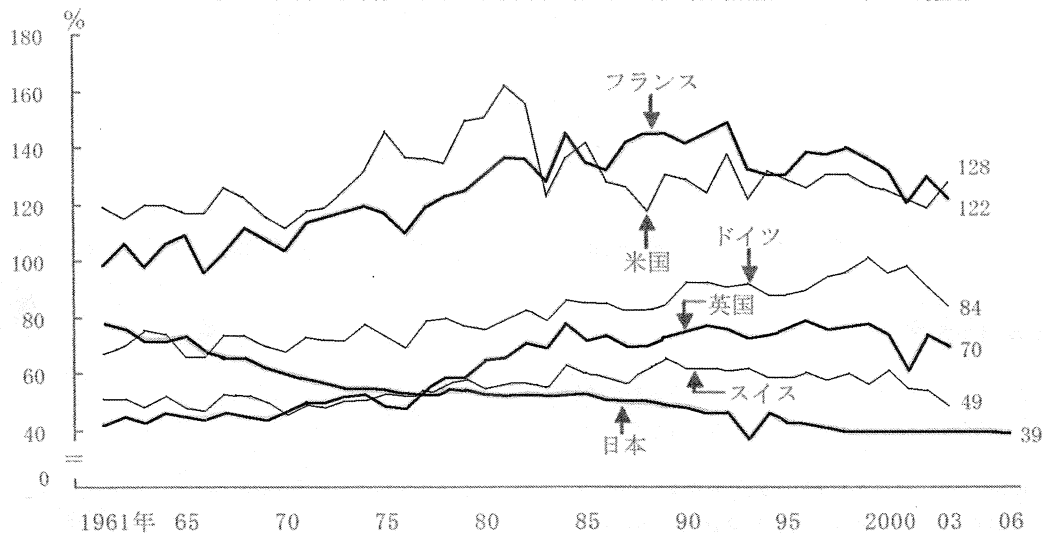
必須科目

10時～12時30分

Ⅱ 次の3問題のうち1問題を選んで解答せよ。(解答問題番号を明記し、答案用紙3枚以内にまとめよ。) なお、各問題の図表は、平成19年度及び20年度の「食料・農業・農村白書」から引用した。

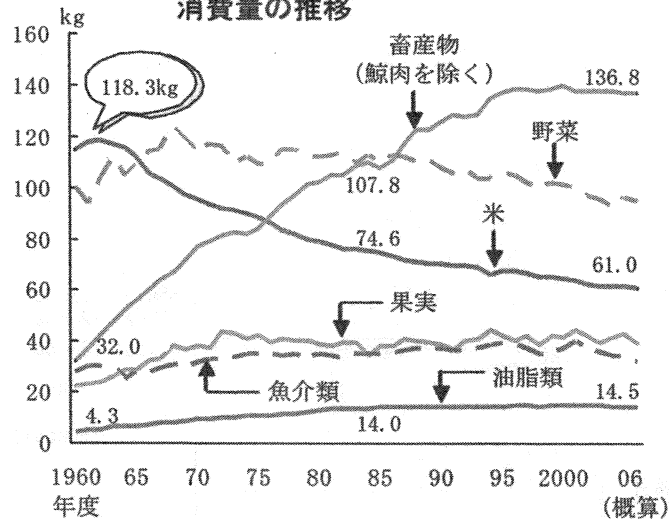
Ⅱ-1 我が国の食料自給率の向上と安全な食料の安定供給について、下図を参照して、その現状と課題を説明するとともに、課題に対する対応策を述べよ。

我が国及び諸外国の食料自給率（供給熱量ベース）の推移



資料：農林水産省「食料需給表」、FAO「Food Balance Sheets」を基に農林水産省で作成

国民1人1年当たりの品目別消費量の推移



資料：農林水産省「食料需給表」

注：1) 国民1人1年当たりの消費量は、国民1人1年当たりの供給純食料とした。

2) グラフ中の数値は、米、畜産物、油脂類の1960年度、1985年度、2006年度の数値である。

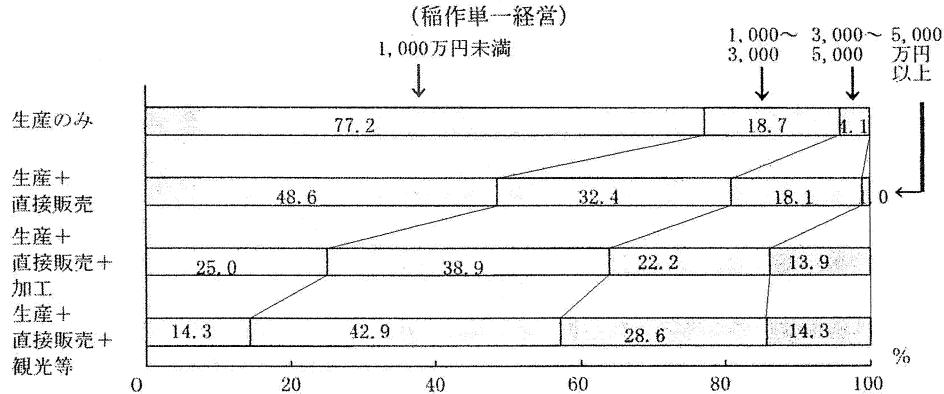
Ⅱ－２ 我が国農業の体質強化について、下の図表を参照し、農地の有効利用、担い手の育成・確保、多様な農業経営の展開方向の視点から、その現状と課題を説明するとともに、課題に対する対応策を述べよ。

耕地面積、農業就業人口等の推移

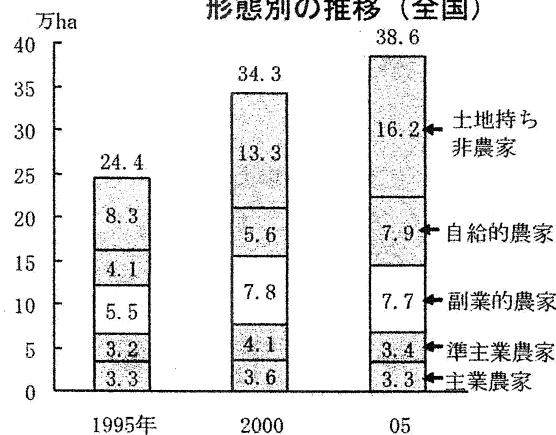
	1965年	75	85	95	2005
耕地面積 (万ha)	600	557	538	504	469
	増減率(%)	▲ 7	▲ 10	▲ 16	▲ 22
耕作放棄地 面積(万ha)	—	13.1	13.5	24.4	38.6
	増減率(%)	—	3	86	194
総農家数 (万戸)	566	495	423	344	285
	増減率(%)	▲ 13	▲ 25	▲ 39	▲ 50
農業就業人口 (万人)	1,151	791	543	414	335
	増減率(%)	▲ 31	▲ 53	▲ 64	▲ 71
基幹的農業 従事者(万人)	894	489	346	256	224
	増減率(%)	▲ 45	▲ 61	▲ 71	▲ 75
65歳以上 (%)	—	—	19.5	39.7	57.4

資料：農林水産省「農林業センサス」、「耕地及び作付面積統計」
注：増減率は、1965年比(耕作放棄地面積は1975年比)で、1985年以降の農業就業人口及び基幹的農業従事者は、販売農家ベースの数値

販売金額規模別法人経営数の割合 (2005年)

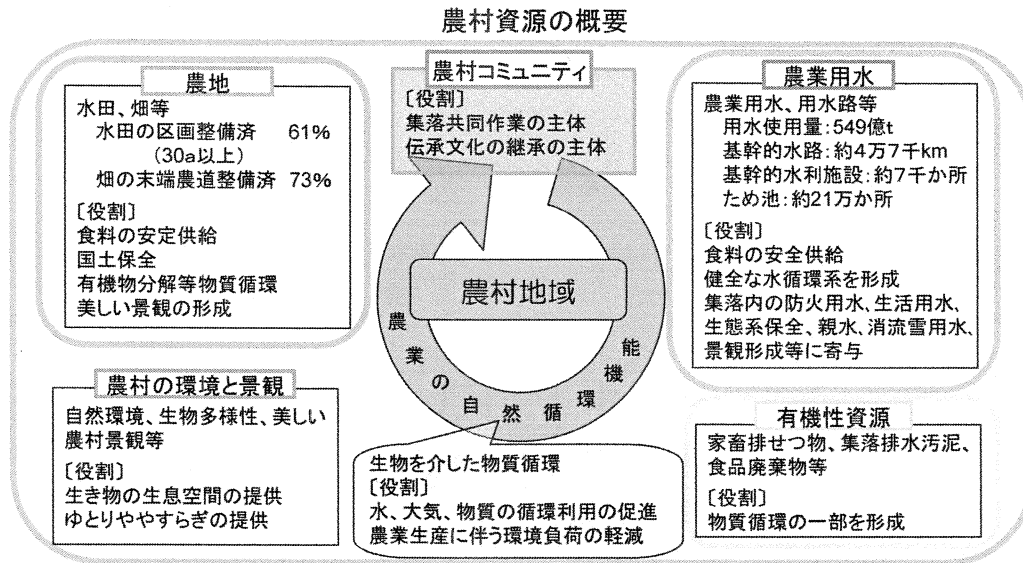


耕作放棄地面積の農家形態別の推移 (全国)



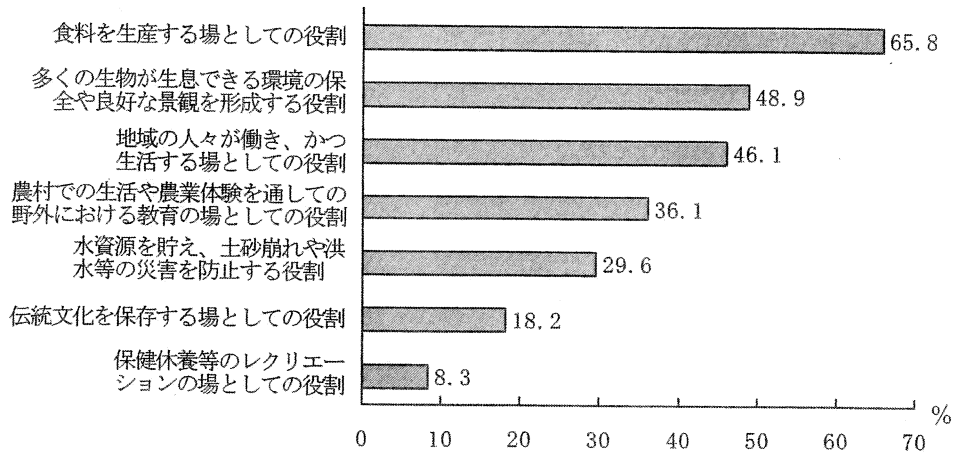
資料：農林水産省「農林業センサス」

Ⅱ－3 我が国は今後、農村資源の活用・保全を図りつつ、農業の多面的機能を発揮させるとともに、都市と農村の共生・対流を一層推進することにより、活力ある農村の実現を図る必要がある。活力ある農村の実現について、下図を参照して、その現状と課題を説明するとともに、課題に対する対応策を述べよ。



資料：農林水産省作成

農村のもつ役割に対する意識(複数回答)



資料：内閣府「食料・農業・農村の役割に関する世論調査」(2008年11月公表)
注：全国20歳以上の者5千人を対象とした調査(回収率62.9%)